

豊岡偉人伝 2

私たちの暮らしの発展に尽くし、近代日本の礎を築いた人、スポーツ・芸術の普及発展に心血を注いだ人など、豊岡にはさまざまな先人たちの心が息づいています。

その先人たちに学び、志を引き継ぎましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

生誕100年を迎えた 但東町出身の偉大な教育者 東井義雄

東井義雄 (1912～1991)

但東町佐々木出身 教育者



東井義雄は、ひたすら「いのちの教育」の探究に尽くし、「日本のペスタロッチ」(近代教育をつくったスイスの教育者)と呼ばれた教育者です。小学校を中心に40年間にわたって教師を務め、常に子どもの側にある教育を目指し、命の不思議、命の素晴らしさ、そして「教育の原点」を説いてきました。今でも彼の残した言葉や教えを心の支えにする人が全国にいます。



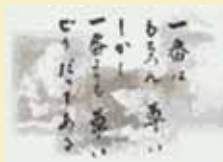
自転車通勤する東井義雄

東井義雄の人生 そのものから生まれたいのちのことば

東井義雄は、心が温まる、自分を見直す、そんな「いのちのことば」をたくさん遺しました。それは、東井義雄の人生の出来事そのものから生まれた魂の言葉です。また、その言葉の中には「人づくり」「まちづくり」のキーワードもたくさんあります。

●一番は尊いしかし一番よりも尊いビリだってある

姫路師範学校では全員が何かの部に入らなければならず、東井はマラソン部に入部しました。しかし、運動の苦手な東井は卒業するまでビリを走り続けました。ビリを走りながら東井は、「教員になったら、ビリッコの子どもを分かちやれる教員になろう。とび箱の跳べない子、泳げない子、勉強の分からない子どもの悲しみを分かちやれる教員になろう。『できない子は、努力が足りないからだ』などと、子どもを責める教員にはなるまい」と心に決めたのでした。



●生きていくことのただごとでなさ

敬愛する父の死、それに前後して愛児の大病に遭遇し、いのちのただごとでなさに気付きます。また、わが子のいのちをとおして、受け持ちの子ども60人のいのちのただごとでなさに気付きます。その他、たくさんの「いのちのことば」を残しています。

- ・『どの子ども子どもは星』
- ・『根を養えば樹はおのずから育つ』
- ・『ほんものはつづく、つづけるとほんものになる』
- ・『百千の灯あらんもわれを待つ灯は一つ』
- ・『○は大きく×は小さく』…

代表作：『村を育てる学力』

昭和32年、明治図書から出版された教育実践記録です。小さな山奥の、つっぱり学校といわれ何時倒れてもおかしくないような相田小学校(但東町相田)でハツラツとして営まれた、教育の報告です。



『村を育てる学力』では、学習の基盤にこの国土や社会に対する「愛」を据え付けておきたいと書いています。東井は、生活からかけ離れた学問などないと、生活の中から課題を発見し、教師や地域と課題を共有しました。そして、問題を解決していく課程の中から育つ子どもの生きた学力が確立することを発見し、実践しました。そこから連帯が生まれ、共感が育ち、親を捨てず、家を捨てず、村をも見捨てない学力が育つと説いています。

《東井義雄記念館》

- 場 所 但東町出合150(但東市民センター内)
- 開館時間 午前10時～午後4時
- 休 館 日 火曜日・祝日・年末年始
- 入 館 料 無料
- 内 容
 - ・東井義雄著書および共著関係140冊
 - ・論文、実践記録等掲載雑誌900冊
 - ・東井義雄関連図書(序文、紹介など)60冊
 - ・東井蔵書2,750冊
 - ・遺墨、遺品など
 - ・ビデオ(東井義雄の生涯、他)
- 問 合 せ 但東総合支所地域振興課 ☎54-1000(代表)
- 東井義雄記念館ホームページ
http://www3.city.toyooka.lg.jp/toui-kinenkan/index.html

●発行／豊岡市
☎0796231111
FAX231124
●編集／政策調整部秘書広報課

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)
・竹野 ☎47-31111
・出石 ☎52-31111
・但東 ☎54-4232-11001
・城崎 ☎10001